

第 35 回日本環境教育学会大会自主課題研究（座談会）へのお誘い

この学会の準備および初代事務局長として、自然文化誌研究会のメンバーの協力を得てこの学会を創りました。もちろん、高名な先達沼田眞さんや鈴木善次さんはじめ、多くの方々との共同作業でもありました。学会創業者として 20 周年記念座談会で先達から要請された「**環境学習原論一心の構造と機能**」の基礎概念仮説モデルについては、1 年だけ会員に戻って、一般口頭発表（8 月 31 日か 9 月 1 日）でお話しします。また加えて、共同企画者数名と共に自主課題研究（9 月 1 日）「**希望を創る環境学習を求めて**」も行います。本来なら、30 周年記念座談会で報告することでしたが、このような企画はなかったようです。

人新世における自己家畜化に抗い、生き物の文明へと移行するために、自然文化誌研究会で実践してきた ELF 環境学習過程に基づき、根底的な生活様式の実践哲学として環境学習原論を提案しました。日本の社会を復興する希望を創るように、環境教育実践と研究、日々の暮らしを統合する学問について深く話し合いたいです。若い方たちとも直接対話して、意見を聞きたいです。提出した要旨は下記です。ぜひ、ご参加くださり、環境学習・環境教育により、希望を創る話し合いの輪に加わってください。よろしくお願ひします。

自主課題研究代表： 木俣美樹男

1) 第 35 回日本環境教育学会大会

日時：2024 年 8 月 29 日～9 月 1 日 場所：千葉県流山市、江戸川大学

https://www.jsfee.jp/members/meeting/113-annual-meeting/601-jsfee35_chiba2024

2) 自主課題研究：希望を創る環境学習を求めて 資料集

<https://www.milletimplic.net/university/pelcivicuu/jsee24mk/jsee2024.html> * 一

般発表：環境学習による心の構造と機能の文化的進化 基本概念

* 学会の歴史と環境科、環境教育推進法、環境学習原論資料 などを含む

3) 座談会進行

○9 月 1 日、15：30～17：30 時間配分 2 時間

○参加定員 30 名を想定、状況に応じます

1. 趣旨説明 木俣美樹男（自然文化誌研究会／植物と人々の博物館研究員）

2. 全体対話 参加者に発言を多く求める

指定討論者 必要に応じて発言します

長浜和代（お茶の水大学付属お茶の水小学校）

小柳知代（東京学芸大学環境教育研究センター）

斎藤博嗣（一反百姓じねん道） ほか

4. 自由グループ対話

5. 全体対話の続き（上記報告を含む）

6. まとめの挨拶 福田恵一（元中学校教員）